

イベントご参加にあたっては、参加企業の情報を事前にインプットしわからないことや疑問に感じたことは、Q&Aコーナーで解消しよう！

気になる会社情報は、[ロゴをクリック](#)！採用ホームページだけでなく、コーポレートサイトから事業内容や製品情報等もしっかりインプットして当日を迎えよう！



JFE スチール 株式会社 **JFEスチール株式会社** (売上高：3兆8,811億円<2022年度/連結> 従業員数：45,000名<連結>)

1. JFEスチール株式会社とは

世界トップクラスの鉄鋼生産規模を持ち、「常に世界最高の技術をもって社会に貢献します」という企業理念のもと、お客様や社会のニーズに応える鉄鋼製品をグローバルに提供しています。

2. 当社の強みについて

当社は①高付加価値な製品づくり、②海外への積極展開、③DXの推進、④環境問題への取り組み、において優位性を持ちながら事業を推進しております。

3. 機電情報系の学生に求めるもの

機電情報系の方の入社後のキャリア多岐にわたり、研究開発・製造技術開発・設備技術開発などの領域においてスペシャリストになることが求められます。近年当社ではDXの推進やカーボンニュートラルに向けた技術開発などに取り組んでおり、そうした活動においては機電情報系の皆さまのスキルが必要となります。新しい領域へチャレンジしたい方や、仕事を通じて社会に広く貢献したいとの考えをお持ちの方をお待ちしております。

4. 業界の展望について

今後30年間で世界における鉄鋼需要は約1.5倍に成長すると言われており、新興国を中心に需要が拡大傾向にあることからグローバルな事業展開を行っております。また、DXによる開発・製造の効率化及び迅速化を進めたり、2050年のカーボンニュートラルに向けた技術開発をおこなったりと新しい技術領域へのチャレンジをしております。

5. 主要製品

各種鉄鋼製品【熱延薄鋼板、冷延薄鋼板、表面处理鋼板、厚鋼板、形鋼、H形鋼、鋼矢板、レール、継目無鋼管、鍛接鋼管、電縫鋼管、角型鋼管、電弧溶接鋼管、電磁鋼板、ステンレス鋼板、棒鋼、線材、鉄粉、スラブ】

6. 活躍フィールドについて

機械系：機械系出身者の活躍フィールドは幅広く、研究開発（商品開発、プロセス開発）、製造技術開発、設備技術開発と多岐にわたります。新素材の開発や、ダイナミックな製造現場の高効率化、商品の高品質化、巨大なプラント建設など、ご自身の志向に合わせた幅広いキャリアを歩むことが可能です。

電気系：電気系出身者は主に設備技術開発（制御部・エネルギー部）で活躍いただいております。製鉄プラント・設備の開発・建設・保全まで、設備の電気系統における幅広い業務に従事していただいております。近年は設備開発の際にAIやデータサイエンス技術を積極的に導入しており、データサイエンティストとしてのキャリアもごございます。

情報系：情報系出身者は主にAI技術やCPS技術、ロボティクス技術などの研究開発や、設備技術開発の分野での業務に従事していただいております。近年はインテリジェント製鉄所など、CPSを活かした幅広い開発を行っており、JFEスチールのDX推進に大きく貢献することができます。

7. 技術系採用人数機電情採用人数の内訳（実績）

2024卒	技術123人	うち 機電情49人
2023卒	技術 95人	うち 機電情45人
2022卒	技術 76人	うち 機電情33人

※過去の実績であり26卒の採用予定人数ではありません

8. エンジニア配属予定勤務地（工場・研究所所在地等）

東日本製鉄所(千葉地区)：千葉県千葉市
東日本製鉄所(京浜地区)：神奈川県川崎市
西日本製鉄所(倉敷地区)：岡山県倉敷市
西日本製鉄所(福山地区)：広島県福山市
知多製造所(知多地区)：愛知県半田市

9. 主要顧客と競合企業

主要顧客：自動車メーカー各社、自動車部品メーカー各社、造船各社、重工業メーカー各社、家電メーカー各社、食品・飲料メーカー各社、プラントエンジニアリング各社、ゼネコン各社、インフラ（電気・ガス・水道・鉄道）各社etc

競合企業：日本製鉄、神戸製鋼所、大同特殊鋼、プロテリアルなど

10. 直近のおすすめ自社イベント！

『ものづくりエンジニア体感インターンシップ』

■実施内容

当社の製鉄所や研究所のうち一つの職場に配属され、そこで実際に存在する課題に取り組んでいただきます。第一線で活躍するエンジニア・研究者と同じ職場で、実際に働くことを体験できます。

■期間

8月上旬～9月下旬に各製鉄所・研究所にて実習型インターンシップを複数回開催予定。実習日数は5日間・8日間・10日間の3種類・計5日程をご用意しています。詳細は当社インターンシップ特設サイトよりご確認ください。

◆エントリー・企業紹介映像はこちらをクリック

